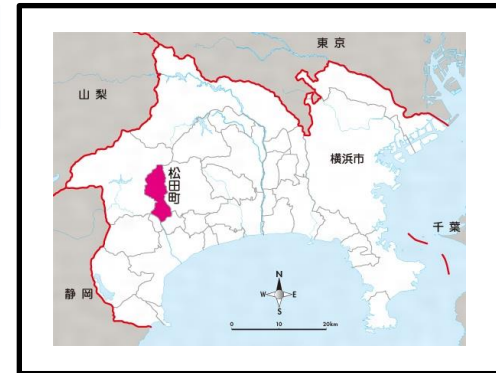


令和4年度 松田町地域公共交通会議（神奈川県松田町） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

本町の公共交通は、JR御殿場線松田駅、小田急小田原線新松田駅の2線2駅、新松田駅北口駅前広場のバスターミナルを拠点として、本町町内、山北町、開成町、南足柄市、大井町、小田原市方面への民間の路線バスが運行されているほか、本町に拠点を置く3事業者によるタクシー、ハイヤーが運行している。しかし、本町の地形は、町域南側の一部平坦な地区と、北側の丘陵・山地の地形とに大きく二分され、この地形条件により町域北側の地域では、道路網も脆弱で、道路交通の利便性及び路線バスの運行ルートにも制約を受けるものとなっている。



地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

近年では、本町を含む酒匂川流域の圏域においては、路線バスの減便等が頻発し、交通空白地域、交通不便地域の拡大が進行している。特に、町域北側の地域を運行するバス路線は、中津川とほぼ並行して山間を縫うように通る県道710号神縄神山線上を運行する路線のみとなっており、主たる外出目的となる通勤や買い物、通院等に際しても、バスの運行頻度や運行時間帯、目的地までのアクセス性がよくないことなどからバスを利用する者が少ない状況となっている。また、本町の移動交通手段は、自家用車に依存した状況にあり、高齢化の進展に伴い自動車運転免許証を返納する人が増え、公共交通へのニーズが増加することも考えられる。日常生活の足となる公共交通を維持・確保し、利便性の高い公共交通網の構築を図るため「松田町地域公共交通計画」を策定する必要がある。

アピールポイント

- ・町民の交通移動実態を把握するため、日常の移動目的や交通手段、行き先に加え、最寄りバス停までの移動についての評価、下車バス停から目的地までの距離など、自宅から目的地までの移動に対する調査を実施した。
- ・公共交通に対する不安や不満を抱える方が多い地域の実態を正確に把握するため、そのような地域にアンケート調査票を多く配布し、地区ごとの回答数にばらつきが生じないよう、アンケート調査の実施方法を工夫した。
- ・アンケート調査だけでは見えてこない各地区の状況を把握するため、各自治会（26地区）の自治会長に対し、自治会住民が抱える公共交通に関する問題点や意見・要望等についてヒアリング調査を実施した。
- ・町内移動の利便性向上と、利用目的に応じた町外移動手段の確保することを目標として、既存交通サービスに加えて、AIオンデマンド交通の導入を検討している。

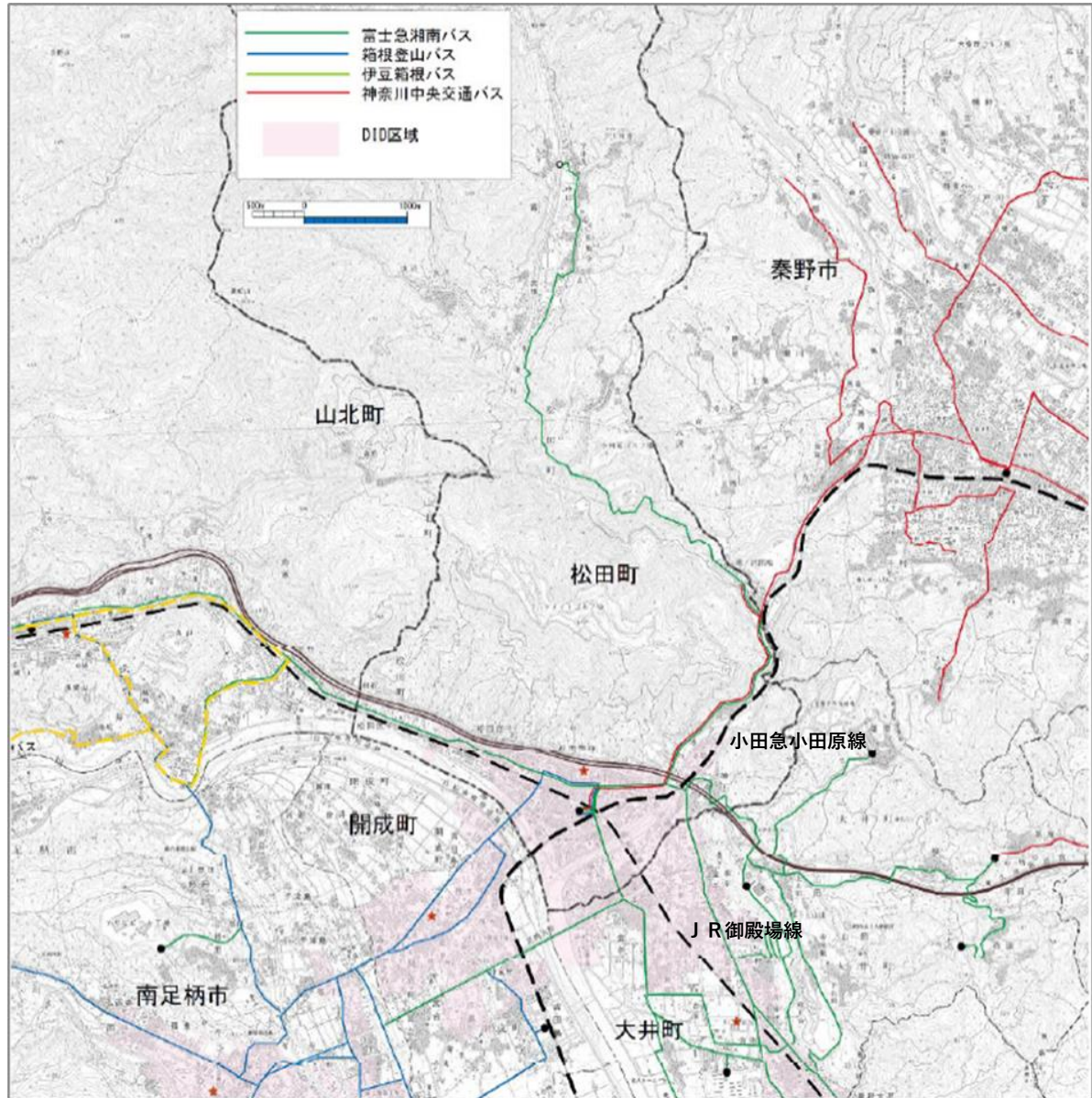
面積	37.75km ²
人口（R4.4.1時点）	10,683人
15歳未満	1,001人
65歳以上	3,750人
高齢化率	35.1%

協議会開催状況

- 令和4年度の開催状況（予定含む）
- ・第1回（令和4年7月26日（書面））
町民アンケート調査 ほか
 - ・第2回（令和4年11月15日）
基本理念・基本方針（案） ほか
 - ・第3回（令和5年1月27日）
基本理念・基本方針（修正案）
実証実験の実施
事業評価 ほか
 - ・第4回（令和5年3月中旬）
目標値の設定
令和6年度のスケジュール ほか

○参考資料

・地域の交通体系図



松田町を中心とする公共交通路線図

・新モビリティサービス導入検討エリア(案)



足柄広域新モビリティサービス事業計画(素案)
令和4年3月
足柄広域モビリティサービス推進協議会